

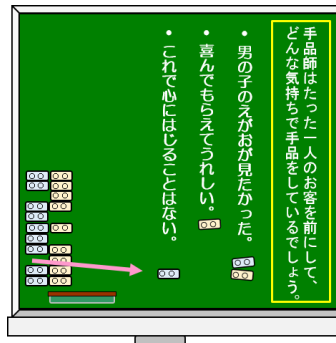
Ⅱ-3

指名、発言の取り上げ方

発言すると授業が楽しい！聞いてくれるとうれしい！

● 子どものやる気の出る指名をする。

- 顔を見て名前呼びましょう
 - ・ 「はい、次」と言われるより、「はい、〇〇さん」と指名された方が、子どもは温かな気持ちになり、学習への意欲が高まります。
 - ・ 人間関係ができてから大丈夫と思い込んでいませんか？呼び方に差を付けず、公平な呼び方で指名しましょう。
- この授業でまだ発言していないのは誰かを意識してみましょう
 - ・ 名前プレートを活用するのも一つの手です。黒板に位置付けたり、手元の座席表に貼り付けたりする工夫ができます。



● 目的に合わせて、工夫した指名をする。

- 全員で反復練習する時（ドリル・発声練習など）
 - ・ 基礎・基本の定着を図ることができるように、全員に発言の機会を設ける。
 - ・ 最初に指名の順番を伝え、一人ずつ指名する間を省くことで、授業にリズムが生まれるようにする。
- 経験や感想を話し合う時
 - ・ 自分なりの意見や考えを発言すればよいことを伝え、挙手しやすい雰囲気を作る。
- 学級全体で考えを深めていく時
 - ・ 指名の順番を考えるために、ノート指導や机間指導を通して、あらかじめ子どもの考えを把握しておく。
 - ・ 学習のねらいに迫る考えやその子なりの頑張りを認め、意図的に指名する。
 - ・ 一人一人の学習状況を把握し、指導に役立てるために座席表を活用するのも効果的である。
- 発表が苦手な子どもに自信を持たせたい時
 - ・ 読む部分や指名する順番などを伝えて、見通しを持たせる。
 - ・ モデルを示した後に指名するなど、発表しやすい環境を整える。

思ったことをみんなに話してみよう。
あなたの考えを聞きたいのよ。



次は、新しい発想で書いていた〇〇さんを指名しよう。



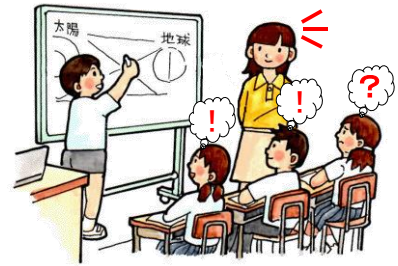
あの子を指名した後、発表が苦手な〇〇さんを指名しよう。



発言を取り上げ、学級みんなのものにするのは、教師の役割

① 子どもの発言は顔を見て聞く

- ・ 子どもの表情を見ながら、相づちを打ったり、うなずいたりしながら聞くのが原則です。
- ・ 発言を聞いている子どもがどんな表情で話を聞いているかを意識することも大切です。



② 発言内容の共有化を図る

- ・ 子どもの発言した内容を教室全体で共有するようにしましょう。

〇〇さんの提案を、確認のために□□さん、もう一度言ってみてくれますか。

③ 発言のよさを的確に評価し、授業に生かす（内容、態度）

資料を活用して考えられましたね。

〇〇さんの意見とつないで考えたのですね。

④ 発言に対して、意見を促す

そう考えた理由を説明してくれますか。

〇〇の部分をもっと詳しく教えてください。

〇〇さんの意見について、聞きたいことや、つないで話したいことはありますか。

⑤ 発言者の考えを他の子どもの思考の材料にする工夫をする

- 意見の背景や根拠を考えさせたい時

〇〇さんは、どうしてこのように考えたのでしょうか。

- それぞれの意見の相違を考えさせたい時

〇〇さんと□□さんの考えはどこが違いますか。

- 分類して比べさせたい時

〇〇さんの考えとよく似ているのは、どの意見ですか。

- 意見を修正してよりよいものにさせたい時

〇〇さんの意見をもっと具体的にするには、どうすればよいでしょうか。

- それぞれの意見をまとめて考えさせたい時

〇〇さんと□□さんの発言をまとめると、どのようになりますか。

ワンポイント!

「失敗は成功のもと」と捉える雰囲気をつくりましょう

子どもたちが、安心して発表する雰囲気を作るには、友達の発言を嘲笑したり冷やかしたりすることを絶対許さないという教師の姿勢が大切です。「〇〇さんの発言があらたな視点を与えてくれました」の教師の一言があるのとないのでは、子どもたちのその後の取組に違いが出てきます。

まず、教師自身が子どもたちの失敗を成長の過程として前向きに捉え、子どもたちが安心して課題にチャレンジすることができるような雰囲気をつくりましょう。